

本 会 記 事

1. 平成2年度総会並びに研究発表会

四国植物防疫研究協議会の平成2年度総会並びに研究発表会は、約180人が参加して、11月14、15日の両日、松山市、愛媛文教会館で開催された。

1) 総 会

14日午後1時から開催され、平成元年度会務報告が承認された後、平成2年度の事業計画および予算案が上程、承認された。なお、平成2年度の新役員には次の諸氏が選出された。〔会長〕浅賀宏一〔副会長〕都崎芳久、葭原敏夫〔評議員〕加々美好信、酒井勇夫、大広 悟、山本弘幸、佐々木善隆、上森 実、松岡隆宏、橋 泰宣、古谷真二、高井幹夫、岡田忠虎、山本孝猛、北興化学工業(株)、石原アグロ(株)、塩野義製薬(株)〔庶務幹事〕山本孝猛、妹尾芳江〔会計幹事〕岩崎真人〔編集委員〕岡田忠虎、谷 利一、倉田宗良、平野千里、高井幹夫、岡本秀俊、小倉寛典、山本孝猛、岩崎真人

2) 研究発表

14日午後1時50分から15日11時30分まで、つぎの13題の講演が行われた。

1. 三浦 靖・楠 幹生・都崎芳久(香川農試)
イネもみ枯細菌病に対するオキシリニック酸剤(スターナー)の効果
2. 高井幹夫・山下 泉(高知農林技研)・川沢哲夫(日本特殊農薬)
イネドロオイムシの四国における発生分布の概要
3. 森 充隆・牛田泰裕・宮下武則・松本英治・川原清剛(香川病害虫防除所)・楠 幹生(香川農試)・古市 智(香川県綾歌農改)
稈麦における大麦縞萎縮病が収量におよぼす影響について
4. 矢野和孝・森田泰彰(高知農林技研)・倉田宗良(高知県農業技術課)・古谷真二(高知農林技研)
スミブレンド水和剤によるナス灰色かび病の防除
5. 竹内繁治(高知農林技研)・高橋尚之(高知県農業技術課)・亀谷満朗(農業研究センター)
高知県のシントウガラシにおけるタバコモザイクウイルスU系統の発生について
6. 高井幹夫(高知農林技研)
捕食性カメムシ類の害虫防除への利用
7. 金磯泰雄(徳島協町地方防除所)
エンドウベと病の薬剤防除
8. 貞野光弘・弘田恵介・酒井勇夫(徳島農試)・三宅克彦(徳島地方防除所)
ハス褐斑病におけるチオファネートメチル耐性菌の発生状況
9. 行成正昭(徳島果試)
ハランナガカイガラムシの生態に関する観察例
10. 窪田聖一・荻原洋品(愛媛果試)
ミカントゲコナジラミの発生調査法と年間の発生経過について
11. 川原清剛(香川病害虫防除所)・佐々木善隆・十河和博(香川農試府中分場)・松本英治(香川病害虫防除所)
クワゴマダラヒトリの薬剤感受性
12. 篠崎 毅・中西秀明(愛媛病害虫防除所)・松岡隆宏(愛媛農試)
露地ナスにおけるミナミキイロアザミウマの総合制御実証

13. 高井幹夫（高知農林技研）・酒井勇夫（徳島農試）・都崎芳久（香川農試）・松岡隆宏（愛媛農試）

四国地域におけるハスモンヨトウの薬剤感受性低下

3) 特別講演

14日午後3時50分から5時20分まで、愛媛県農業試験場吉岡幸治郎場長による「水田害虫の薬剤抵抗性とその対策」、四国農業試験場山本孝猪病害研究室長による「花のウイルス」の講演が行われた。

4) 協議

15日9時から10時まで、平成2年度の病虫害発生の特徴とその対策並びに防除上の問題点について、各県防疫係の各氏より報告が行われた。

2. 次年度大会

平成3年度総会および研究発表は香川県が担当し、平成3年11月中旬に高松市において開催されることが決められた。